

令和2年実施 町政懇談会の記録 (01 防災)

朱書きは、後日回答するとしたもの及び訂正箇所です。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (青書きは、令和3年3月31日現在の対応状況です。)	担当課等
筒井	10月31日	01防災	2級河川のハザードマップ作成について	重信川のハザードマップは、被害発生頻度が低く、規模が大きすぎるため、道路冠水等の被害発生頻度が高い、長尾谷川等2級河川のハザードマップが必要ではないか。	2級河川のうち、大谷川については、県が浸水シミュレーションを行い、今年度中に町がハザードマップを作成する予定です。長尾谷川等その他2級河川については、現在水位周知河川に指定されていないため、河川管理者の県によるシミュレーションが実施されておらず、浸水シミュレーションのデータがありません。町としても、当該データが必要と考えますが、費用も発生するため、協議の結果により、町においてシミュレーションの実施を検討します。 ⇒ 引き続き愛媛県へ水位周知河川に指定されるよう要望します。	総務課
筒井	10月31日	01防災	筒井地区の浸水対策	過去の町政懇談会で、筒井地区の浸水対策について、国近川へ雨水を放流する計画の説明を受けていたが、従前の水路改修等による雨水対策事業を実施することについては、説明がなく承知していなかった。水路改修等による雨水対策事業を実施するのか。	浸水シミュレーションを行った際に、国近川への雨水の放流を検討しましたが、放流する結果には至らず、一番効果があったのは、筒井地区の水路拡幅等の実施であったため、従前の水路改修等による雨水対策事業を実施することとしました。 平成30年10月25日に筒井地区雨水対策事業説明会を開催し、地元の方へ説明を行いました。今後も事業の周知について努めます。	まちづくり課
塩屋	11月7日	01防災	重信川の防災対策工事	現在、国が実施している重信川の河床掘削等防災対策工事では、安全性が担保されていないと思うので、実効性のある対応となるよう働きかけをしてもらいたい。	河床掘削については、国に対し、今後も継続して取り組んでもらえるよう要請しています。また、今年度から「重信川流域治水協議会」を流域市町や関係機関で設立し、今後の治水対策を「重信川流域治水プロジェクト」として策定し、その中で浸透対策などの治水対策に取り組むこととしています。	まちづくり課

令和2年実施 町政懇談会の記録 (02 道路・交通・建物)

朱書きは、後日回答するとしたもの及び訂正箇所です。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (青書きは、令和3年3月31日現在の対応状況です。)	担当課等
宗意原	10月31日	02道路・交通・建物	通学路の変更	県道八倉松前線が小学校の通学路になっているが、歩道が整備されていない箇所があり、危険であるため、通学路を変更してほしい。	通学路は教育委員会で指定していません。地域、学校、関係者において、子どもにとって一番安全な経路を通学路に決定していますので、改めて学校と相談してください。今までにも危険な通学路を変更した事例があります。	学校教育課
宗意原	10月31日	02道路・交通・建物	県道八倉松前線の歩道	県道八倉松前線は通学路になっているが、松前中学校東側の区域は歩道が未整備なので、早急に整備してほしい。当該付近の法定外公共物(里道)を不法に占用している箇所について、歩道にできないか。	県道八倉松前線の歩道整備については、従前からの課題として認識しています。整備は県が行うものですが、地権者との協議については、町として取り組んでいます。 → 里道については、関係者に払下げを考えています。不法占用と思われる土地については、現況を確認して当該土地に隣接する土地所有者に説明をしています。	まちづくり課
宗意原	10月31日	02道路・交通・建物	開発道路の通行制限について	宅地開発の際に整備された道路を町へ寄付したので、自由通行であることは理解しているが、通行量が増加し、事故の発生や道路沿いの住人が危険にさらされることから、町で通行を制限してもらいたい。	当該道路は、公衆用道路となっていますので自由通行を遮ることは困難と考えます。当該道路の安全対策については、研究していきます。 → 町としては、当該道路の通行を制限することはできませんが、通り抜けを抑制する方法として、開発区域内の住民の皆様方の総意により、皆様方が皆様方の費用で看板を設置することを提案します。町有地に看板を設置する場合は、申請をいただければ町としては許可したいと考えています。	まちづくり課
西高柳	11月7日	02道路・交通・建物	県道の歩道整備	県道松山松前伊予線の適切な管理を県へ要請してほしい。また、県の担当者から県道沿いの西高柳地区内に歩道整備の計画があると聞いているが、ぜひ進めてほしい。	県道の整備等に関する各地区の要望等について、適宜県に報告します。	まちづくり課
塩屋	11月7日	02道路・交通・建物	工業団地への進入路	民間事業者が、県道伊予松山港線から塩屋工業団地への進入路の図面を示し、該当地権者へ用地買収を進めていると聞かすが、事実か。	民間事業者の動向は承知していません。令和2年9月松前町議会定例会の一般質問の答弁のとおり、今のところ、町においては、御質問の進入路建設の計画はありません。	まちづくり課
宗意原	10月31日	02道路・交通・建物	道路の安全対策について	白線補修やカーブミラー設置など道路の安全対策を徹底してほしい。	本件については、大字からの要望を通じて対応していますが、なお、担当課の巡回等も実施し、確認します。	まちづくり課
宗意原	10月31日	02道路・交通・建物	道路の浸水対策	大雨による筒井地区の浸水対策の進捗を教えてください。	長尾谷川の右岸については、浸水シミュレーションを行い水路の改修に取り組んでいるほか、 <b>義農ポンプの排水能力を補完するために</b> 、旧松前保育所跡地の地下に貯留池を設置する計画を立てています。 長尾谷川の左岸については、今後検討し排水計画を策定します。	まちづくり課
筒井	10月31日	02道路・交通・建物	ひまわりバス	フジ松前や病院などにバス停を増設できないか。	バス停の設置については、町民の利便性向上を踏まえて、検討したいと思います。 → 乗客数調査をするともに、バス停増設には、道路認可、新設バス停の確保、運行時分の調整、それに伴う経費等の問題があるため伊予鉄道及び関係機関と協議します。	町民課
大間	11月7日	02道路・交通・建物	ひまわりバス	ひまわりバスについて、どこでも乗り降りできるフリー乗降制を導入してはどうか。	コミュニティバスを1台で運行するという制約の中で、フリー乗降制の導入が可能か検討します。 → フリー乗降制導入に必要な許可について、調査を行い、整理が出来次第、関係機関と協議します。	町民課
東古泉	11月7日	02道路・交通・建物	空家対策	地区内に倒壊が懸念されている空家があり、環境衛生、防災・防犯、景観上の問題から住民が困っている。今後の町の取組を教えてください。	空き家については、所有者を調査し適切な管理を要請しています。ただし、所有者において、今後の利用予定がない場合や管理が困難である場合は、町が実施する老朽放置建築物の撤去に関する補助制度を説明し、同制度の活用を勧めています。また、空家等の状況や周辺への影響に応じて特定空家等に対する措置を講じます。	まちづくり課

令和2年実施 町政懇談会の記録 (02 道路・交通・建物)

朱書きは、後日回答するとしたもの及び訂正箇所です。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (青書きは、令和3年3月31日現在の対応状況です。)	担当課等
東古泉	11月7日	02道路・交通・建物	空家対策	地区内の空家について、特定空家に認定することで、所有者が適切な管理を行うようになると思われるので、早急に対応してほしい。	特定空家を指定するための調査が遅れており、現在特定空家の認定を行っていません。今後、計画的に進めます。	まちづくり課
神崎	11月7日	02道路・交通・建物	公園の管理	福德泉公園には、遊具の不具合や使われていない施設等が見受けられるので、子供達の安全安心のために適切な管理を行ってほしい。 また、町内の公園は、遊具の種類等物足りないと感じる。今後の整備の予定を教えてください。	指摘のあった遊具について、早急に対応します。町の公園の遊具の整備については、以前から町の公園の遊具が少ないとの声がありましたので、各地域が管理するコミュニティ広場への遊具設置について補助を行いました。町管理の公園については、将来的に遊具を拡張していく考えです。	まちづくり課

令和2年実施 町政懇談会の記録 (04 環境)

朱書きは、後日回答するとしたもの及び訂正箇所です。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (青書きは、令和3年3月31日現在の対応状況です。)	担当課等
北黒田	10月31日	04環境	ごみ収集	可燃ごみ以外のごみの集積場が北黒田公民館だけなので、可燃ごみの収集箇所と同じ程度にならないか。	ごみの集積場は、大字で選定しています。要望があったことは、担当課から区長に連絡します。 ⇒ 11月中旬頃、区長にごみステーションの設置について依頼しました。	町民課
北黒田	10月31日	04環境	ごみの削減	生活ごみの削減のため、可燃ごみ以外のごみについても指定袋でごみ出すこととし、有料化にしてはどうか。また、1年間のごみ処理にかかる費用を教えてください。	家庭から出るごみの処理は、そもそも税金で行う(べき)ものであり、これは行政のスタート、原点でもあります。現在、可燃ごみについては、町民の皆さんにごみを減らす努力をしてもらうため、有料指定袋で収集していますが、その他のごみについては、行政で処理していくべきと考えています。ごみ処理費用については、後日回答します。 令和元年度の家ごみ排出量は約7,505トンで、処理費用は、約3億1,874万円です。	町民課
東古泉	11月7日	04環境	ごみの集積場所とポイ捨て	歩道がごみの集積場となっているところがある。町からは指導できないのか。路上等へのポイ捨てを規制してほしい。	ごみの集積場は、大字で選定していますので、歩道にごみが出されていることについては、地域でごみ集積場の変更など改善策を協議してください。ポイ捨てごみの問題は、公衆道徳の問題であり一般的な呼び掛けによる啓発しかないと考えます。	町民課

令和2年実施 町政懇談会の記録 (08 農業)

朱書きは、後日回答するとしたもの及び訂正箇所です。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (青書きは、令和3年3月31日現在の対応状況です。)	担当課等
鶴吉	11月7日	08農業	裸麦の需要拡大・消費拡大	はだか麦が豊作で在庫過多になっている。行政として、今後も引き続き、先頭に立って、はだか麦の需要拡大・消費拡大に取り組んでほしい。	はだか麦については、愛媛県が33年連続生産量日本一で、松前町は面積が少ないながらも愛媛県第2位の生産量を誇っています。松前町の特産品と言えますので、はだか麦の需要拡大・消費拡大について支援したいと思っています。具体的な支援策は、今後の検討課題とします。 ⇒2020年12月に榊まさき村がはだか麦を使用した「松前作兵衛らーめん」を販売開始し、好評をいただいています。さらに、2021年4月から東レ(株)が社員食堂で週に1回はだか麦ご飯を提供してくださることになり、年間消費量は、約240kgになる見込みです。 引き続き、はだか麦の需要拡大・消費拡大に向けた支援策等を検討します。	産業課

令和2年実施 町政懇談会の記録 (09 観光)

朱書きは、後日回答するとしたもの及び訂正箇所です。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (青書きは、令和3年3月31日現在の対応状況です。)	担当課等
新立	10月31日	09観光	新立海岸の開発	国内外からの集客を図るため、新立海岸や内港を整備し、海浜公園や集客施設設置の計画を策定してはどうか。	海岸や港を再開発し、町が直営で集客施設を設置、運営することは困難であるため、町の魅力を高め、民間事業者が開発等に興味を持つ町となるよう努めます。	まちづくり課

令和2年実施 町政懇談会の記録 (12 その他)

朱書きは、後日回答するとしたもの及び訂正箇所です。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (青書きは、令和3年3月31日現在の対応状況です。)	担当課等
神崎	11月7日	12その他	財政基盤安定に向けた取り組みについて	財政調整基金について、町が目標とする10億円を確保するための取組について教えてほしい。	歳入については、ふるさと納税の推進や広告収入を確保するほか、新たな収入の確保に努めます。歳出については、事務事業評価に外部評価を導入をするほか、経常的経費の削減、枠配分方式による予算編成、企業会計及び特別会計の健全運営を図り、コスト削減に努めます。歳入を増やし、歳出を減らすほかないと考えますので、実施すること、実施しないことを見極めることが必要と考えています。	財政課
神崎	11月7日	12その他	財政基盤安定に向けた取り組み	財政調整基金の積立額について、松前町と比較して他市町が多い理由を教えてください。また、他市町の積立額は、今後も増加していくのか教えてください。	他市町については、過疎債など松前町では活用することができない有利な財政上の制度の適用を受けるため、本町と比較して積立額が多い状況にあると考えます。今後の他市町の基金積立額については、市町により変動(増減)するものと考えます。なお、令和元年度の愛媛県内の決算状況を見ると、実質単年度収支が赤字の団体は15団体であり、何らかの基金が減少しているものと推察します。	財政課
中川原	11月7日	12その他	補助金について	財政基盤の安定に向けた歳出の取組について、奨励的な補助金は3年で廃止としているが、補助金により事業や個人の収入が増え、経済活動が活性化し、税収が増えることも考えられる。補助金を廃止することについて詳しく説明してほしい。	奨励的な補助金とは、町として町民の皆さんの活動を奨励・助長することを目的とした補助金のことです。一度創設した補助金を継続して交付し続けると、新しい補助金制度を創設することに支出が増え続けることから、活動の浸透・普及によりその目的を達成した補助金は、廃止するというものです。	総務課
中川原	11月7日	12その他	補助金について	補助金事業について、町のホームページで検索ができるようにしてほしい。	補助事業を集約した一覧を掲載するなど検索が容易になるよう検討します。 ⇒補助金事業の情報を集約し、町ホームページのトップページから容易に検索することができるよう7月末を目途に改善します。	総務課
塩屋	11月7日	12その他	補助金について	財政基盤の安定に向けた歳出の取組について、奨励的な補助金は3年で廃止としているが、どのような補助金が教えてほしい。	町民の皆さんの活動を奨励・助長することを目的とした補助金が対象です。一度創設した補助金を継続して交付し続けると、新しい補助金制度を創設することに支出が増え続けることから、活動の浸透・普及によりその目的を達成した補助金は、廃止するというものです。	総務課
塩屋	11月7日	12その他	町長の給与減額	町長の給与を減額する措置が行われたところであるが、減額が与える財政への影響はほとんどないと思われるので、減額しなくてもいいのではないかと。	慢性的に赤字が続くなど深刻な財政難に直面していれば、町長のみならず職員の給与を削減することも考えられますが、今の財政状況は、その窮状にまで至っていません。災害や感染症など突発的に緊急的な費用の発生に備える財政調整基金額が不安であるため、財政基盤の安定化に真剣に取り組もうとする、リーダーとしての覚悟、意気込みを示すために行うものです。	総務課
塩屋	11月7日	12その他	入札制度	正確に設計ができるのであれば、入札を行わず、その設計価格で受注できる業者に請け負わせればよいのではないかと。	公共工事等は、原則として公平・公正な競争入札を行わなければならないことが地方自治法で定められていますので、特殊な内容のものは別として、正当な競争入札により業者を決定し、特定の事業者と契約することは避けたいと考えています。	財政課
塩屋	11月7日	12その他	正規職員の雇用増加	市町村の臨時職員の割合が4割を超えるという報道を見たが、それで仕事ができるのか。また、松前町の臨時職員の割合について教えてください。	今年度から会計年度任用職員制度が導入され、従来の臨時職員は、会計年度任用職員になりました。会計年度任用職員は、勤務時間によってパート雇用とフルタイム雇用に分かれますが、正規職員が行う業務の補助を行う職員として雇用しています。 なお、松前町の会計年度任用職員の割合は45%程度です。	総務課

令和2年実施 町政懇談会の記録（12 その他）

朱書きは、後日回答するとしたもの及び訂正箇所です。

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (青書きは、令和3年3月31日現在の対応状況です。)	担当課等
塩屋	11月7日	12その他	町政懇談会について	本年度の町政懇談会は、土曜日の午後で開催されたが、参加者を見ると高齢者と男性が大半を占めている。女性や若者の参加が増える町政懇談会にしてほしい。	本年度の町政懇談会は、女性団体を対象とした懇談会や現役世代の方が参加しやすい土日の昼間開催なども計画しましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、今回の開催方法と参加結果になりました。次年度以降は、改めて幅広い年齢層の方々に参加いただける町政懇談会の開催に努めます。	総務課
中川原	11月7日	12その他	都市計画	北伊予地区は、他の校区と比べ産業・経済面の開発に差があると思うが、どのように考えているか教えてほしい。	松前町は、松山広域都市計画区域内にあるため、区域に求められる役割の中で整備を進めることとなります。計画に変更がない限り、北伊予地区が農村地帯としての役割を担うことが続いていくと考えます。町の都市計画においても、北伊予地区は農地が広がっているため、農地を生かした産業を振興していくこととしており、農業振興に必要な支援をしたいと考えています。	まちづくり課
西高柳	11月7日	12その他	西高柳墓地	重信川が増水すると墓地が浸水するので、墓を囲む堤防を設置してほしい。また、堤防上道路から墓に降りる道の拡幅はできないか。	河川法で規制されているため、堤防を設置したり、道路拡幅を行ったりすることは困難と考えます。	町民課